

InfoLib-Global Finder

InfoLib-Global Finderは国際規格の情報検索プロトコルであるZ39.50 (ISO23950)、SRW/SRWUに対応したパッケージです。本システムにより、インターネット上に存在するZ39.50/SRW/SRWUサーバの横断検索や、データベースの公開が可能となります。



HTTPゲートウェイ機能

WEBブラウザのみの利用で、インターネット上で公開されているZ39.50またはSRW/SRWUデータベースへの横断検索を実現しています。利用者は検索プロトコルの違いを意識することなく、様々なデータベースを同じ感覚で利用することが可能です。

マルチターゲット機能

Z39.50サーバに対し、複数のサーバを一度に指定して横断検索できるマルチターゲット機能を実装しています。



データ配信機能

データ配信のためにZ39.50サーバ機能とSRW/SRWUサーバ機能を提供します。本機能により、検索したデータベースをZ39.50またはSRW/SRWUにより外部に公開することができます。InfoLibに収録されたデータはもちろん、InfoLibに登録されていないXML、SGML形式のデータも公開可能です。※データ配信機能を利用する場合は検索エンジンとしてOpenText?が必要です。

InfoLib-PMH

InfoLib-PMHはOAI-PMH ver2.0に準拠したメタデータ収集、および提供を可能とするパッケージです。InfoLib-PMHはOAI-PMH専用のリポトリからメタデータを収集するホームページ機能、収集したメタデータを外部に公開するリポトリ機能の両機能をサポートしています。

ホームページ機能

OAI-PMHに準拠したリポトリ(ウェブブラウザ)からメタデータを収集し、自動的にデータベースに登録・管理できます。InfoLib-PMHのホームページでは収集対象に複数のリポトリを設定することが可能です。収集対象のリポトリ毎に様々な検索条件をWEBブラウザから行うことが可能です。メタデータを収集する際にCURLの追加、メタデータフォーマットの変更も可能です。

リポトリ機能

OAI-PMHに準拠したリポトリ機能を提供します。外蔵のリポトリから収集したメタデータを簡単にOAI-PMHのリポトリとして公開することができます。リポトリで公開する際に提供メタデータフォーマットを自由に設定設定できます。(標準でDublinCore, Jurlに準拠)またリポトリの様々な設定をWEBブラウザから行うことが可能です。



収集メタデータ管理機能

ホームページより収集したメタデータをレコード毎に分割・管理できます。メタデータはWEBブラウザから編集、削除することが可能です。

メタデータコンバート機能

収集したメタデータ@InfoLib-METAで検索できるようにするデータ変換機能をサポートします。得意なデータ変換設定を登録可能です。またデータ変換条件、スケジュールを設定可能です。

InfoLib-Archives

InfoLib-Archivesは本格的なデジタルアーカイブシステム向けのソフトウェアです。目録管理やユーザインターフェース等、ご要望に応じたカスタマイズが可能です。様々な方法による検索連携や■(International Image Interoperability Framework)にも対応しています。



システムの特徴と機能

高質的な目録管理、検索機能、一括登録・出力機能、検索機能、異種記号集、利用統計機能、個別検索機能、メタデータ提供機能等を有した総合的なパッケージです。

InfoLibパッケージ構成

製品一覧

- InfoLib-DBR
- InfoLib-Global Finder
- InfoLib-PMH
- InfoLib-Archives
- InfoLib-ASP

動作環境

対応OS

Linux

infocom インフォコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前二丁目34番17号 住友不動産原宿ビル
TEL:03-6866-3640 FAX:03-6866-3360 http://www.infocom.co.jp/das/

InfoLib Integrated multimedia search system

infocom

国際標準対応デジタルデータのアーカイブ/配信システム



InfoLib-DBR

InfoLib-DBRは誰でも簡単にデータベースを公開できるソフトウェアです。お手持ちのデータを登録して、すぐにインターネットで公開できます。

驚くほど簡単にデータベースを作れます。

InfoLib-DBRではお手持ちのExcelデータを使って簡単にデータベースを構築できます。データベースの構築に必要なステップは3ステップだけです。簡単な操作で本格的なデータベースを構築できます。



登録するデータを選びません。

画像、動画、音声等のあらゆるデジタルコンテンツを登録しインターネットで公開できます。メタデータの項目も自由に追加や修正が可能です。



クリックでらくらくカスタマイズ。

作成したデータベースの機能や表示内容を簡単にカスタマイズできます。きめ細かな設定機能を利用してお好みのデータベースを作成してください。



さあ、公開。

作成したデータベースはインターネットで世界中に公開できます。アクセス権限の設定で特定の利用者への公開も可能です。公開後も、気になったところはすぐに修正できます。



InfoLib-DBR

InfoLib-DBRにはデジタルアーカイブを構築、公開ための便利で使いやすい機能が満載です。

検索画面は自動作成します

ユーザは登録するメタデータ(目録データ)の各項目にその用途を登録するだけで、ユーザが指定した項目の用途に応じて検索システムを自動作成します。"項目の用途"は、検索用、表示用、ソート用、コンテンツのURL、カテゴリ用、ブラウザ用等の20種類以上が用意されています。組合せにより詳細な用途の指定も可能です。

用途に合わせた検索結果表示

検索結果の表示方法や内容はデータベースの用途で異なります。InfoLib-DBR内では、メタデータ種別、目録データと画像の一致等の多様な検索結果の表示方法をサポートしているため用途に合わせた検索結果の表示が可能です。

検索支援機能

検索画面にはキーワード検索の入力フィールドだけでなく、ブルドワンメニューやリストボックス、チェックボックス、又は他のコントロールの表示が可能です。各コントロールには登録したデータから抽出した値と件数を表示できます。

コンテンツ表示

コンテンツビューアではデジタルコンテンツを置くことができ、画像や動画、PDFが簡単に表示・再生・ダウンロードが可能です。また、利用状況の公開やダウンロードが可能です。

カテゴリ抽出機能

登録したデータからカテゴリ情報を抽出し、階層構造を表示したカテゴリ検索画面を自動作成します。カテゴリは任意で抽出可能です。利用者はキーワードだけでなくカテゴリを選択してデータベースを利用できます。

サジェスト機能

キーワードの候補を利用者への提供する機能です。サジェストするキーワードは登録したデータからの抽出、Googleサジェストを利用するかのいずれかを選択できます。

ブラウズ機能

データベースにどのようなデータが登録されているのかを閲覧できます。閲覧する項目は自由に設定できます。利用者はデータベースにどのようなデータが入っているのかを簡単に確認・検索の参考になります。

複数のデータベース構築と横断検索

複数のデータベースを簡単に構築できることはInfoLib-DBRの最大の強みです。作成したデータベースは横断検索が可能です。

データベースにはホームページも重要です

InfoLib-DBRではデータベースのホームページを画面上ヘッダ領域に書き込みの操作で自由に作成することができます。もちろん、お好みのデザインへの変更することも可能です。

利用状況の把握

利用回数、最も利用されているコンテンツ、利用者の検索方法、利用者の検索元、A時の使用状況等の利用状況を分析し、別々に集計したグラフを交差分析や表示します。また、利用状況の公開やダウンロードが可能です。

アクセス管理

登録されたデータはメタデータのレコード単位、コンテンツ単位、データベース単位でアクセス権限の設定が可能です。IPアドレスによるアクセス権限の設定も可能なため、IDパスワードによる利用権限を管理することができ利用者の利便性を損ないアクセス管理が可能です。

メタデータ編集

メタデータの登録と編集を行うメタデータ編集システムも登録したメタデータから自動的に構築します。メタデータ1件単位での登録と編集が可能です。分類等も所定の値から値を選択してメタデータの値を入力する編集機能や、入力したデータの値が入力欄に記入されているかをチェックする入力チェック機能があります。

スマートフォン対応

公開したデータベースはスマートフォンからも利用可能です。

拡張検索

作成したデータベースの項目を標準検索にマッピングして検索システムを構築できる機能です。標準検索としてSimple DGとMOOSを採用しています。拡張検索では地図検索での検索やレポート、検索結果を地図(Google Map)や画像上にプロットできます。

データ連携APIは標準規格で

InfoLib-DBRでは国際標準のZ39.50、業界標準のSRU、SRW、OpenSearch、OAI-PMH、SPARQLに対応したAPIを公開でもらえ、誰もがすぐにAPI利用できます。

多言語への対応

言語ファイルを追加することで複数の言語に対応した検索インターフェースを利用者へ提供できます。言語ファイルは日本語と英語が標準でインストールされています。

サイトマップ

データベースの利用数を増やすためにはインターネットの検索サービスの利用が不可欠です。InfoLib-DBRではデータベースの情報をサイトマップとしてGoogleやYahoo!に提供することができます。サイトマップを提供することでデータベースの内容がGoogleやYahoo!で検索可能です。

新着リスト配信機能

データベースの新着データを任意で配信できます。また、配信リストをデータベースのTOP画面に表示できるので、新着情報のアナウンスのためにWebページの更新を行う必要がなくなります。

他にも豊富な機能がたくさん

検索キーワードハイライト機能、PDF検索機能、検索結果ダウンロード機能、検索履歴、閲覧履歴機能、ページ設定、可読性設定、検索履歴機能、一覧印刷設定、印刷表示設定、リンク設定、更新設定、URL設定、利用状況管理機能等の豊富な機能があります。